

埼玉県内におけるムネアカハラビロカマキリ *Hierodula* sp.の初記録

田留健介¹⁾ ²⁾・早乙女将史¹⁾・柳沼薫¹⁾

- 1) 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 (埼玉県自然学習センター指定管理者) 〒364-0026 埼玉県北本市荒井 5-200
- 2) 埼玉県立自然の博物館外部研究員 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨 1417-1

キーワード: 外来種, ハラビロカマキリ属, 分布拡大

はじめに

カマキリは世界の熱帯と亜熱帯を中心に分布し、15科 (もしくは16科)、約2400種が記録されている (中峰, 2016). 日本ではハナカマキリ科, カマキリ科の2科, 12種が記録され、埼玉県ではカマキリ科の5種, ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*, ウスバカマキリ *Mantis religiosa*, コカマキリ *Statilia maculata*, カマキリ (チョウセンカマキリ) *Tenodera angustipennis*, オオカマキリ *T. aridifolia* が生息している (内田, 1998, 2008).

近年, 中国原産のムネアカハラビロカマキリ *Hierodula* sp. と考えられる個体が西日本を中心に確認された (市川, 2014; 間野・宇野, 2014, 2015; 吉鶴, 2014). その後, 東京都, 神奈川県でも本種が確認された (川島・渡辺, 2016). これまで埼玉県内での生息も疑われていたが, 正式な報告はなかった. 2016年, 本種を北本自然観察公園 (以下, 公園) で採集したので報告する. 今回が埼玉県での正式な初記録となる.

採集記録

これまで報告されたムネアカハラビロカマキリは, 胸部が細長く, 前胸腹面後半から赤色になり, 前肢基部に10個前後の小さな歯状突起が並ぶ点で, 在来種であるハラビロカマキリと識別が可能である (中峰, 2016). 今回, 公園内で採集された個体はこれら特徴と一致したため本種と判断した.

なお, 2016年11月17日現在, 園内から4個体が採集されている. 一覧を表1に示す.

過去の記録

これまで公園ではハラビロカマキリ属不明種個体の撮影が2例ある. 1例目は2013年10月6日で, 三田市有馬富士自然

学習センター (兵庫県三田市) の中峰空氏にムネアカハラビロカマキリの可能性を指摘された (図1). 2例目は2015年9月15日 (公園来園者撮影) である. そのため, 本種は以前より生息していた可能性がある.

本種の侵入に関する生態系への影響

国内における本種の確認は, 藤野ら (2010) によるものが最初であると考えられていた. しかし, 松本ら (2016) が行ったハラビロカマキリ属の標本調査によると, 東京都八王子市の多摩森林科学園で2000年にメス個体が採集されていることが分かり, 本種がかなり前より国内に侵入していたことが判明した.

愛知県豊田市, 東京都八王子市多摩森林科学園では, 本種の定着により, 在来のハラビロカマキリが減少していると報告されている (間野・宇野, 2014; 松本ら, 2016).

本種は一般認知度の低さによって, いつの間にか侵入・定着する可能性が高い. 外来種による生態系への影響を鑑み, 注意喚起をしたい.



図1. 公園内で撮影されたムネアカハラビロカマキリ
スケールバーは10 mm

謝 辞

本報告を作成するに当たり、中峰空、宇野総一両氏には本種の分布に関する情報をいただいた。また、公園利用者の石川敬之氏には、本種の目撃情報をいただいた。ここに記して感謝申し上げます。

文 献

藤野勇馬・岩崎拓・市川顕彦, 2010. 福井県敦賀市でハラビロカマキリ属不明種の成虫と卵囊を採集. 昆虫と自然, **45** (5) : 32-34.

市川顕彦, 2014. 愛知県・岐阜県・福井県で採集されたハラビロカマキリの一種について. 月刊むし, **524** : 17-22.

川島逸郎・渡辺恭平, 2016. 神奈川県川崎市で確認された外来種ムネアカハラビロカマキリ (カマキリ目, カマキリ科). 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), **45** : 97-99.

松本和馬・佐藤理絵・井上大成, 2016. 東京都八王子市の森林総合研究所多摩森林科学園におけるムネアカハラビ

ロカマキリの侵入定着とハラビロカマキリの衰退. 日本環境動物昆虫学会誌, **27** (2) : 53-56.

間野隆裕・宇野総一, 2014. 豊田市におけるハラビロカマキリとムネアカハラビロカマキリの分布動態と形態について. 矢作川研究, **18** : 41-48.

間野隆裕・宇野総一, 2015. 矢作川流域におけるムネアカハラビロカマキリの分布拡大. 矢作川研究, **19** : 107-112.

中峰 空, 2016. カマキリ目. 日本産直翅類標準図鑑. 町田龍一郎 監修, 日本直翅類学会 編, pp.198-205, 株式会社 学研プラス. 東京.

吉鶴 靖, 2014. 愛知県矢作川中流域における外来性ハラビロカマキリ属の一種の分布状況. 豊田市自然史博物館研究報, **24** : 1-5.

内田正吉, 1998. 埼玉県昆虫誌 I. pp. 63-66, 埼玉県昆虫談話会.

内田正吉, 2008. カマキリ目. 埼玉県の希少野生生物「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」, pp. 263, 埼玉県環境部みどり自然課.

表 1. 北本自然観察公園で確認されたムネアカハラビロカマキリの一覧

採集日	2016年8月18日	2016年8月24日	2016年10月4日	2016年11月16日
採集者	埼玉県自然 学習センター職員	埼玉県自然 学習センター職員	埼玉県自然 学習センター来館者	埼玉県自然 学習センター職員
採集地 標高・環境 緯度経度	埼玉県自然学習センタ ー周辺：23m・ススキ上 36.012775, 139.511799	北本自然観察公園南口 付近：18m・草原 36.007919, 139.508931	埼玉県自然学習センタ ー周辺：23m・ススキ上 36.012767, 139.511785	埼玉県自然学習センタ ー周辺：21m・ススキ上 36.012261, 139.511356
所蔵先	埼玉県立自然の博物館 【SMNH-In25023】	埼玉県立自然の博物館 【SMNH-In25024】	埼玉県 自然学習センター	埼玉県 自然学習センター

The first record of *Hierodula* sp. (Mantodea, Mantidae)

in Saitama Prefecture

Kensuke TADOME^{1) 2)}, Masafumi SAOTOME¹⁾
and Kaoru YAGINUMA¹⁾

1) Saitama Nature Study Center, Arai 5-200, Kitamoto-shi, Saitama, 364-0026 JAPAN

2) Saitama Museum of Natural History, Nagatoro 1417-1, Nagatoro, Saitama, 369-1305 JAPAN